

大分県別府市ってこんなところ



十文字原展望台からの別府



湯けむり展望台からの湯けむり

別府市は、九州の北東部、瀬戸内海に面した大分県の東海岸のほぼ中央に位置し、阿蘇くじゅう国立公園に属する由布・鶴見岳の麓で裾野をなだらかに別府湾へと広げる扇状地特有の地形により、緑豊かな山々や高原と波静かな別府湾に囲まれています。また、大地から立ちのぼる「湯けむり」は別府を象徴する風景として市民はもちろん観光客からも親しまれている歴史と文化あふれる国際観光温泉文化都市です。市内には、8つの温泉エリアが点在し、医療、浴用などの市民生活はもとより観光、産業などにも幅広く活用され、古くから日本を代表する温泉地として賑わっています。

別府市HP
はこちら

鹿児島県志布志市ってこんなところ



志布志湾に広がるダグリ岬



志布志のまちの風景と志布志港

志布志市は、鹿児島県の最東部、志布志湾の湾奥ほぼ中央に位置する港町で、歴史的町並みが残り日本遺産に認定された「志布志麓」、中世に築かれた山城「志布志城」跡が今なお残っています。また、温暖な気候と霧島山系由来のミネラル豊富な地下水に恵まれ、南九州随一の農業地帯となっています。

海岸部一帯は、日南海岸国定公園に指定されており、亜熱帯性の植物が繁茂し、沖合の枕崎島亜熱帯性植物群落は国の天然記念物に指定されています。また、中央部には物流拠点かつ九州唯一の国際バルク戦略港湾である志布志港があり、南九州地域の国内・国際物流拠点となっています。

志布志市
HPはこちら

ありがとう大阪・関西万博～フェリーを使って万博へ～



©Expo 2025

大阪・関西万博 総来場者数 約2,900万人

令和7年4月13日から10月13日まで開催された「大阪・関西万博」へは非常に多くの方にご来場いただきました。

各フェリー会社においても、0泊3日の万博関連ツアー等が人気を博するなど、各地からたくさんの方がフェリーを利用して来阪されました。

フェリーでつな

住之江区が連携協定を締結している
フェリー会社3社と2自治体をご紹介します！

住之江区長
藤井 秀明

住之江区は「海の玄関口」として、国内外の様々な都市とフェリー航路によって結ばれています。

令和7年4月には、住之江区・株式会社商船三井さんふらわあが大分県別府市、鹿児島県志布志市とそれぞれ三者連携協定を締結しました。

大阪・関西万博を契機に、フェリーによる人流促進・地域の活性化をめざします。